



## やまみ三原運動公園 で除幕式

市が命名権（ネーミングライツ）の売却先を募集し、株式会社やまみが取得した三原運動公園で先月1日、新しく設置された看板の除幕式が開かれました。式には天満祥典市長、やまみの山名清社長などが出席し、「やまみ三原運動公園」のスタートを祝いました。

式典には、普段から運動公園で練習している第五中学校陸上駅伝部の生徒も出席。代表してあいさつした土田愛美花さんは「整った環境の練習場を提供して下さって感謝しています。多くの人に支えられていることに感謝し、全国大会出場を目標に練習に励みます」と話しました。

命名権の売却により、市民球場やテニスコートなど、公園内各施設の名称にもやまみの企業名が付きましました。同社のイメージカラーであるオレンジ色を基調とした新しい看板は、園内3カ所に



▲新看板を披露しました

設置されています。

やまみ三原運動公園では、6月14日（日）にプロ野球ウエスタン・リーグのカープ戦が開催されます（詳しくは5ページで告知しています）。ぜひ来場してください。

☎スポーツ振興課

☎0848・64・7219

## 起業の促進をめざし 産学官金の協議会が スタート

市は、新たに市内で事業を始める人を支援するため、産学官と金融機関で組織する起業化促進連携協議会を設置し、先月8日、市役所で設立総会を開催しました。

設立総会には、天満祥典市長のほか、商工会議所、臨空商工会、県立広島大学、金融機関など協議会を構成する9団体から16人が出席。会長に商工会議所の勝村善博会長を選びました。

初会合では、起業をめざす人への具体的な支援策を協議しました。まちづくり三原に支援拠点を設置し、専門知識のあるコーディネーター2人を配置して、融資や起業手続きの相談に応じるほか、会社経営や販売拡大をテーマにした講習会なども開催することとなりました。



▲市内で起業をめざす人への支援策を検討していきます

また、起業を希望する人から事業計画を募集し、優れたものを表彰するコンテストも計画しています。

市は、国の交付金を活用し、年間600万円を同協議会に補助。年間20件程度の起業を目標とします。市内の事業者が増えることで、経済が活性化し、新たな雇用が生まれることなどを期待しています。

☎商工振興課

☎0848・67・6072

## 市重要文化財 新たに4件を指定

市は先月15日、御調八幡宮文書など新たに4件の重要文化財を指定しました。これにより、市の文化財は国・県指定のものを含めて合計283件になりました。

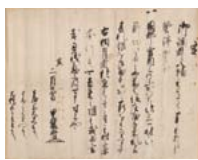
市重要文化財は、市教育委員会（鈴木孝昭委員長）で審議され、指定されました。今回、指定した文化財は次のとおりです。

●「御調八幡宮文書 4巻」（古文書、戦国時代～江戸時代初期）、御調八幡宮所蔵

●「護花鈴・並笛図（狩野派）」（絵画、桃山時代～江戸時代）西福寺所蔵

●「木造帝釈天立像（彫刻、平安時代）円城寺文化財保存会所蔵

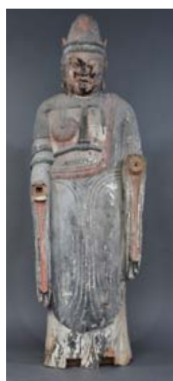
●「木造大日如来坐像」（彫刻、平安時代）大日堂保存会所蔵



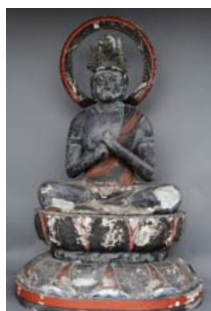
▲御調八幡宮文書



▲護花鈴・並笛図



▲木造帝釈天立像



▲木造大日如来坐像

☎文化課

☎0848・64・9234